

ただいまご紹介いただきました、「北極のフロンティアについて考える議員連盟」副会長の衆議院議員の新藤義孝です。

本日、高円宮妃殿下の御臨席を賜り、シンポジウムが開催されますことにお祝い申し上げます。

議連を代表し、国内外からの著名な北極研究者の方々を歓迎申し上げます。

私たち日本の国会議員は、次の三点を踏まえて、「北極のフロンティアについて考える議員連盟」を設立しました。

第一に北極域は、地球温暖化の影響が最も顕著に現れている地域であり、地球全体の環境や生態系にとって「極めて重要な地域」です。

第二に、海氷の減少が、北極海航路の開拓や新たな資源開発の可能性をもたらすなど、北極域は人類の「新たなフロンティア」です。

第三に、北極域は環境変化に脆弱な地域であり、北極域における人類の活動が、環境や生態系、さらには先住民族など北極域の人々の生活に与える影響についても配慮することが必要です。

私たち議員連盟は、政治の立場から北極を巡る諸課題についての研究や日本が果たすべき役割について、政府に提言を行ってまいりました。

私たちの活動は、日本の国家戦略に北極政策を初めて位置づけることや、これまでの北極研究体制を抜本的に強化拡充し、予算の充実をもたらすことなどに成果として現れています。

これから国会で審議される来年度政府予算案においても、日本初の砕氷機能を持った北極域研究船の整備関連経費が盛り込まれております。

また、議員連盟の活動の一環として、2016年にはノルウェー・ニーオルスンの極地研究所を現地視察し、観測基地の開設25周年記念のワークショップに参加いたしました。

私たちは引き続き、日本が北極域を巡る様々な課題解決に今まで以上に積極的に貢献できるよう、政治の世界から最大限の支援を行ってまいることをお約束します。

皆様の活発な議論を通じて北極研究がさらに進展することと、研究者の皆さまのネットワークが拡大されることを大いに期待しています。

シンポジウムの開催に向けて御尽力をいただいた主催者の皆様に敬意を表し、シンポジウムの成功を祈念しまして、御挨拶とさせていただきます。